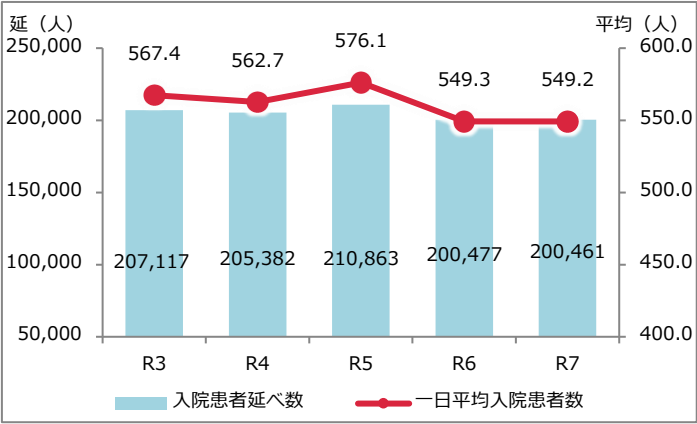


過去5年間の経営状況の推移と令和8年度の目標

1. 入院診療について

(1) 入院患者延べ数と一日平均入院患者数

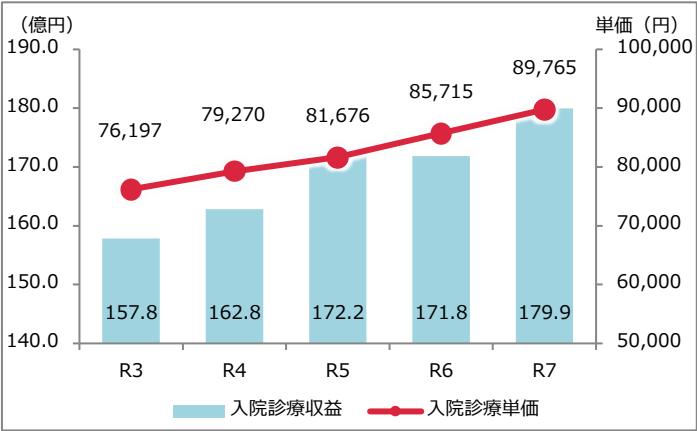


平均在院日数の短縮により入院患者延数が微減の傾向にあるため、新入院患者の獲得と病床稼働の曜日間の偏りの改善を図り、急性期病院として適切な病床運用を目指します。

令和8年度の目標
一日平均 567.4人

(2) 入院診療収益と入院診療単価

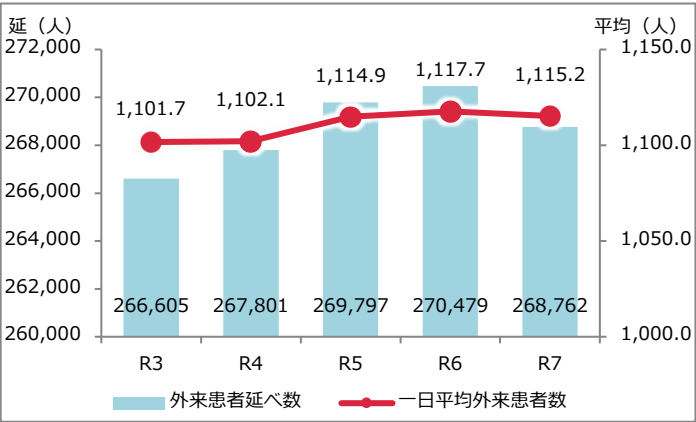
患者1人1日あたりの入院診療単価は高額手術件数の増加、高額医薬品の増加などにより年々増加しており、入院診療収益全体でも増加しています。



令和8年度の目標
診療単価 (全体) 92,000円

2. 外来診療について

(1) 外来患者延べ数と一日平均外来患者数

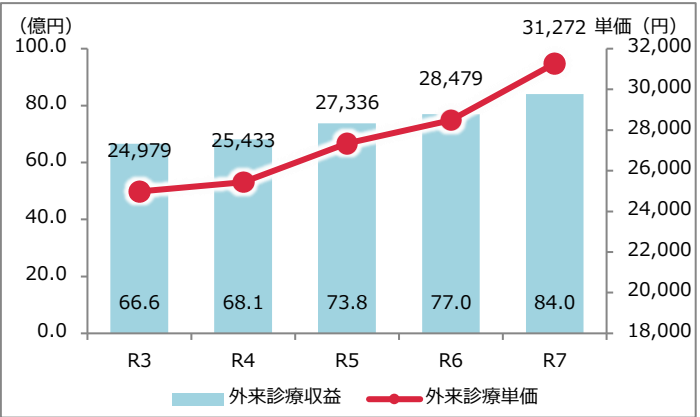


外来患者延べ数は外来診療日数の増減による変動はありますが、概ね1日あたり1,100人で推移しています。初診予約枠の拡大やAI電話による受付を導入し、快適に外来受診できるよう患者サービスの向上にも努めています。

令和8年度の目標
一日平均 1,100.0人

(2) 外来診療収益と外来診療単価

指導料、検査料、手術麻酔料の増加、抗がん剤を使用した化学療法や放射線治療（リンアック）件数の増加により、外来診療収益は年々増加しています。

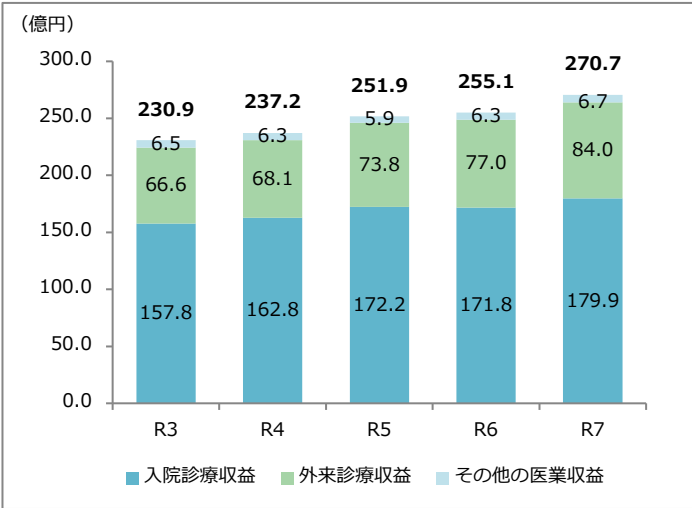


令和8年度の目標
診療単価 33,000円

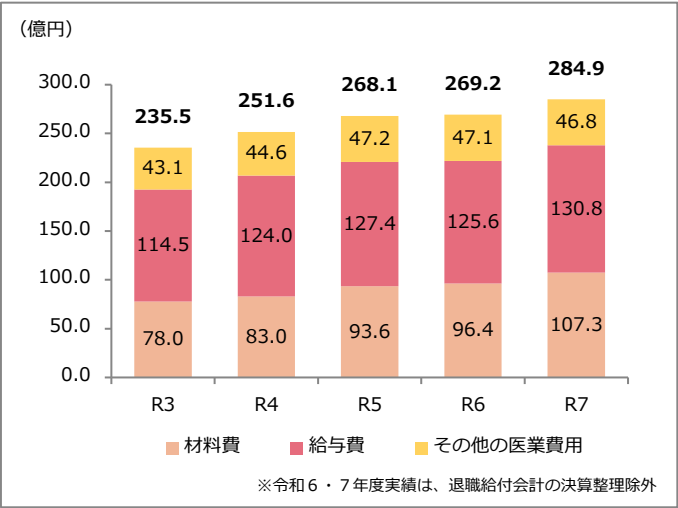
3. 決算の状況

(1) 医業収益と医業費用

ア 医業収益



イ 医業費用



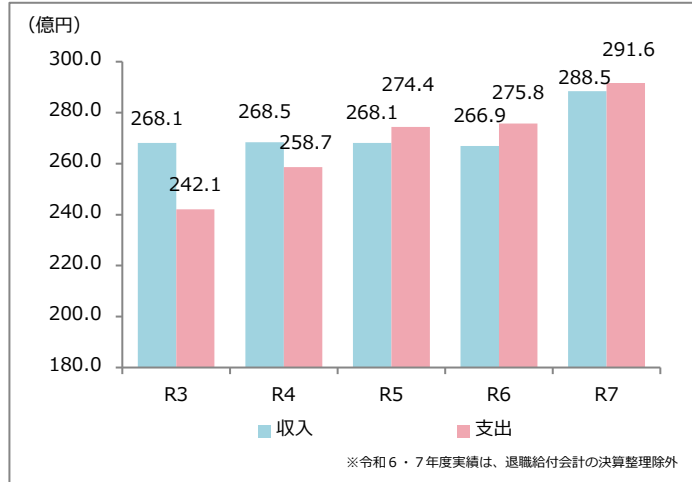
令和7年度の決算状況について、医業収益は270.7億円となり前年比で6.1%増加しました。主な要因は、高額手術件数の増加、高額医薬品の使用量増加、各種加算の取得などが挙げられます。

一方の医業費用は284.9億円となり、前年比で5.9%増加しました。主な要因は、高額医薬品の使用や手術、麻酔に係る材料費の増加、必要な医療を行うための医療従事者の確保に伴う給与費や最低賃金の上昇による委託費の増加などが挙げられます。

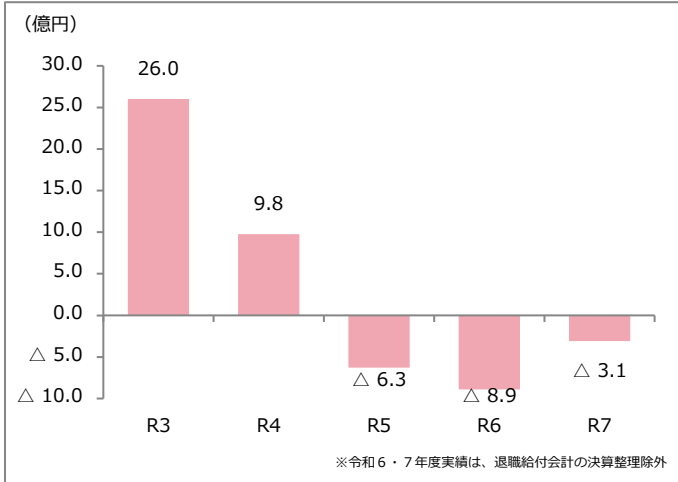
この結果、医業収支差額は14.2億円の損失を計上する結果となりました。

(2) 総収入と総支出

ア 収入と支出



イ 総収支差引額



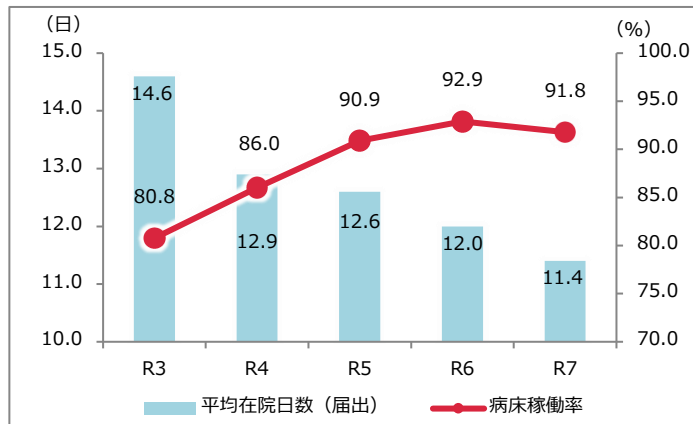
令和4年度までは、新型コロナウイルス感染対策事業補助金（病床確保支援事業）の影響により、総収支差引額では黒字を計上しておりましたが、令和5年度以降は補助金が減額したことで赤字となり、令和7年度は3.1億円の損失を計上する結果となりました。

補助金に頼らず、医業収支で黒字を計上することを目標とし、病院全体で経営改善活動に努めています。

令和 8 年度の目標達成のための取り組み

1. 病床稼働向上のための平均在院日数の適正化と新規入院患者の確保

(1) 平均在院日数と病床稼働率



令和 8 年度の目標 病床稼働率：94.4%

平均在院日数 (一般) 10.5日

ア 平均在院日数適正化の方策

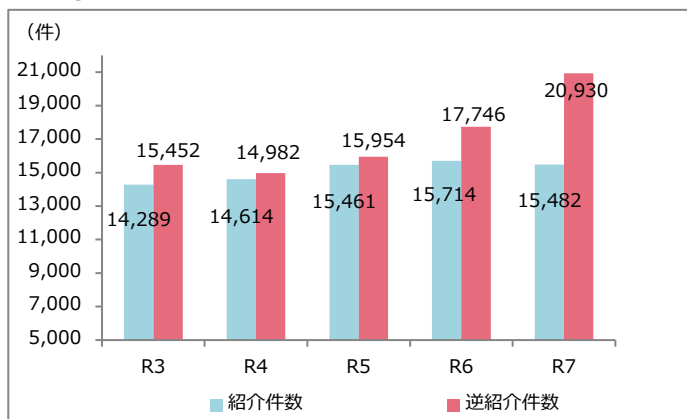
① クリニカルパスの適正化

クリニカルパスとは、入院から退院までの標準的な治療計画であり、より質の高い医療を患者さんに提供することを目的としています。

当院ではクリニカルパスの適正化および新規作成に注力し、DPC期間を考慮したパスの見直しや新規パス作成により、効率よく患者さんを受け入れられるよう取り組みます。

イ 新規入院患者の確保

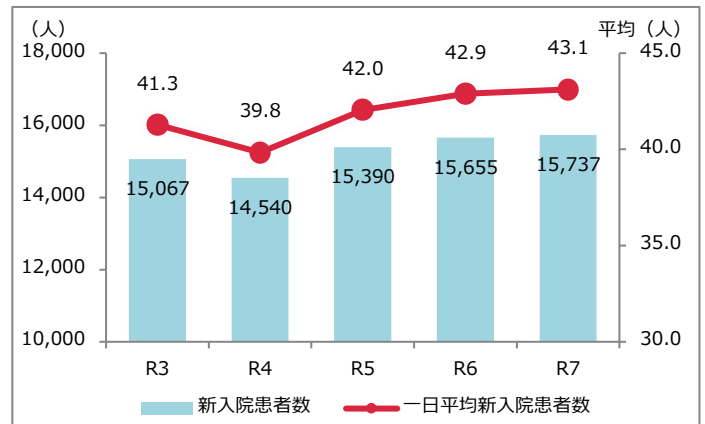
① 紹介患者の受け入れ強化



地域の中核病院として、地域の医療機関との連携や診療科単位の地域連携の取り組みを強化し、紹介患者を積極的に受け入れることで、新規入院患者の確保に取り組み、入院患者の確保を図ります。

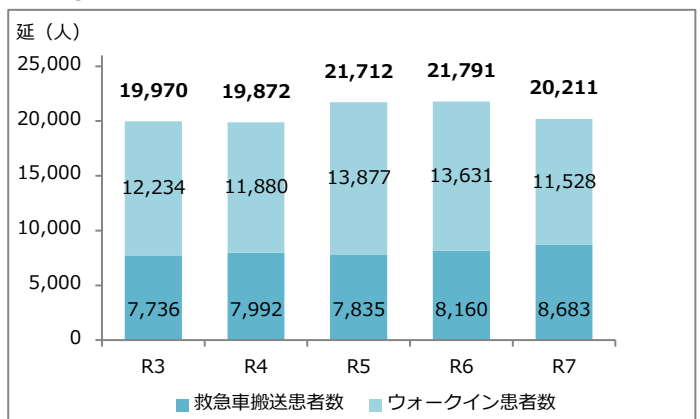
また、救命救急センターを併設する第三次救急医療機関として、地域の消防機関との連携を強化し、積極的に救急車を受け入れることで、新規入院患者の確保に努めます。

(2) 新規入院患者数



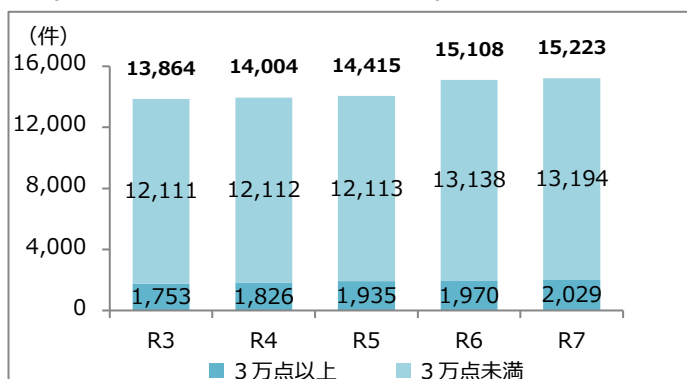
令和 8 年度の目標：45.5人/日

② 救急患者の受け入れ強化



2. 入院診療単価の増加

(1) 高度医療の充実 (手術件数)



手術室の効率的な運営に努め、手術件数の増加を図るとともに、手術支援ロボット「ダビンチ」を新たに外科、呼吸器外科でも使用するための体制整備を行いました。加えて、放射線治療装置「リニアック」による高度で患者さんに負担のかからない低侵襲の医療を提供していきます。

1. 国内外の医療救援活動

(1) 国内災害等救護活動

- 平成29年度 ■水痘集団発生における未然防止対応（外国籍技能実習生延77名）
- 平成30年度 ■平成30年7月豪雨災害（こころのケア要員1名を派遣）
■北海道胆振東部地震災害救護活動（医療救護班1個班を派遣）
- 令和元年度 ■令和元年房総半島台風災害
（DMAT1チーム、医療救護班2個班、こころのケア要員2名を派遣）
- 令和5年度 ■令和6年能登半島地震災害
（医療救護班3個班、日赤災害医療コーディネートチーム2チーム、
こころのケア調整班1名、こころのケアチーム1チーム、被災医療機関支援1名を派遣）

<新型コロナウイルス感染症対応>

- 令和元年度 ■クルーズ船下船者宿泊施設での医療活動（医療チーム1チームを派遣）
- 令和2年度 ■軽症者療養施設での医療活動（延べ137名を派遣）
- 令和3年度 ■成田市集団接種会場への医師・看護師（OG含む）の派遣（延べ846名を派遣）

(2) 国際救援活動

- 平成29年度 ■バングラデシュ南部避難民救援事業への薬剤師1名を派遣
- 平成30年度 ■カンボジア赤十字社救急法普及支援事業に職員1名を派遣
- 令和7年度 ■国際赤十字・赤新月社連盟アジア・大洋州地域事務所マレーシア保健要員に看護師1名を派遣

2. 外国人受入体制の強化 (派遣期間：R7.7.24～R8.6.15)

国際空港に近接する病院として外国人が安心して受診できるよう継続した受け入れ体制の充実に取り組んでいます。また、今年度外国人患者受け入れ医療機関認証制度（JMIP）の更新受審を予定しており、継続的に改善活動に取り組んでいます。

(1) 外国人患者受け入れ状況（外来・入院）

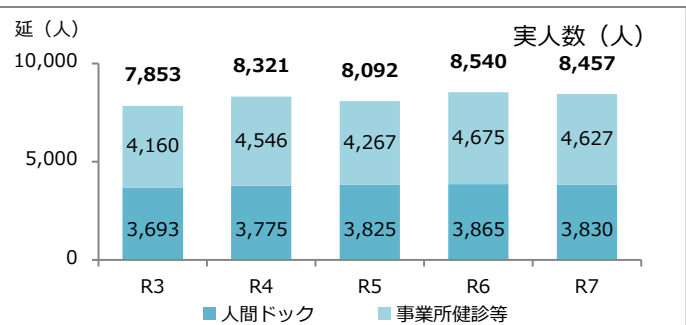
外来患者実数	R3	R4	R5	R6	R7
在 留	3,793	3,886	4,246	4,667	5,294
訪 日	16	97	287	307	303
合 計	3,809	3,983	4,533	4,974	5,597

入院患者実数	R3	R4	R5	R6	R7
在 留	390	319	414	447	540
訪 日	11	24	47	54	49
合 計	401	343	461	501	589

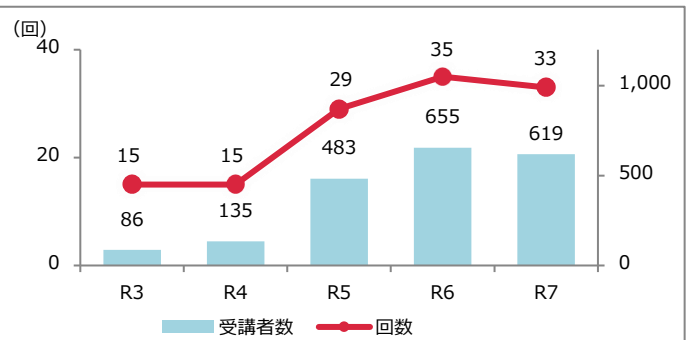
(2) 市町村別外国患者受け入れ状況（外来・入院）

市町村名	外来患者実数	入院患者実数
成田市	2,530	251
富里市	712	47
八街市	532	62
佐倉市	242	31
酒々井町	181	20
印西市	122	12
栄町	91	13
四街道市	75	13
白井市	13	1
小計（印旛医療圏）	4,498	450
その他	796	90
合計	5,294	540

3. 人間ドック等健診事業



4. 救急法等講習会の開催



5. 医療福祉相談活動

